



Weekly Report

創立:1980年(昭和55年)1月10日

会長:大島 浩嗣

幹事:稲葉 徹

会報委員長:高木 勝

例会日:例 毎週木曜日 PM12:30~

会場:ビルトン名古屋

事務局:460-0008

名古屋市中区栄1丁目3-3

ビルトン名古屋910号

TEL:052-211-3803

FAX:052-211-2623

Mail:2760nagoya@mizuho-rc.jp

URL:http://www.mizuho-rc.jp/

CELEBRATE ROTARY

2004~2005年度 国際ロータリーのテーマ ロータリーを祝おう 2004~2005年度 R.I会長グレンE・エステス・シニア

第1212回例会

~ロータリー理解推進月間~

2005年1月20日(木) 晴 第26回

- 司 会:(西本哲会場副委員長)
- 体 操:ストレッチング(船渡昭人会場委員)
- 斉 唱:「それでこそロータリー」
- ビジター:名古屋空港RC 山田幹雄君 他1名
(近藤洋輔親睦活動委員)

会長挨拶

大島浩嗣会長

昨年12月7日、新聞上に日本の学力低下と大幅に報じられ各方面に大変な反響を呼びました。経済協力開発機構(OECD)が2003年に実施した世界41ヶ国での日本での高校1年時の生徒を対象とした数学的応用力、科学的応用力、読解力の三分野に焦点をあて知識や技能を実生活の課題にどの程度活用できるかを評価するテストの結果を発表しました。2000年に次いで2回目です。



学力の国際比較は国際教育到達度評価学会(JEA)が、1964年以降中学生を対象に数学、理科の国際調査を実施していますが、計算や知識量を択一式で問う内容が中心です。OECD調査は学校のカリキュラムを離れ、応用力を見るテストが中心であります。2000年は読解力が中心、今回は数学的応用力、2006年は科学的応用力を重点的に調べるようになっております。その結果、日本の読解力は前回の8位から14位、数学的応用力は1位から6位に下がっております。特に読解力を得点レベル5~1未満の6段階に分けて見ると、日本はレベル5が9.7%、レベル4が23.2%と平均を上回っていますが、レベル1未満も7.4%と多く「上位と下位が多く中位が少ない」二極化が見られることであります。又、数学では、興味、関心についての質問でも[「数学の授業が楽しみだ 26%」「興味がある 33%」に対して「得意でない 53%」「数学の問題をやっているとイライラする 42%」とOECD平均を大きく上回り、苦手意識や不安を感じていることが明らかになっております。数学的応用力や科学的応用力も1位グループとはいえ、二番手グループに近く、学力の散らばりも拡大する傾向にあり、日本の子供の学力が決して磐石でなくなり、楽観視出来ない状況になってきたようです。

特に問題なのは日本は親の学歴や職業など「社会経済文化的背景」と子どもの学力との関係が強いことで、イギリスなどと同レベルの「階層社会」であることが明らかになってきていることです。この結果に対してまだ大丈夫と楽観視せず、学力の低下傾向や格差をより慎重に判断して今後の教育政策に生かすことが大切だと教育社会学の先生が指摘されています。

幹事報告

稲葉 徹幹事

- ・本日例会終了後、13時35分より「第2回クラブ奉仕協議会」を9階「ことぶきの間」にて開催致します。関係各位はご出席お願い致します。
- ・次週1月27日(木)の例会は「第4回クラブフォーラム(中間決算と組織)」です。
- ・会員の濱田輝雄さんから12月31日付にて退会届が提出され、先週の理事会にて承認されました。
- ・会員の岡本忠史さんより1月3日から1月31日までの休会届けが診断書と共に提出され、本日の臨時理事会で承認されました。

出席報告

佐藤一郎出席委員長

会員75名 出席60名 (出席計算人数55名)

出席率83.64%

1月13日は補填により 90.91%

1月6日は補填により 96.49%

12月16日は補填により 100%

臨時例会変更のお知らせ

名古屋	2/1(火)			
名古屋南				2/23(水)
名古屋北		2/11(金)※	2/18(金)※	
名古屋みなと		2/11(金)※	2/18(金)	
名古屋東南				2/23(水)
名古屋名東		2/8(火)		
名古屋名北	2/2(水)			
名古屋千種	2/1(火)		2/15(火)	
名古屋大須	2/3(木)		2/17(木)	
名古屋名南			2/15(火)◇	2/22(火)◇
名古屋昭和			2/14(月)	
名古屋空港	1/31(月)※			
あま				2/21(月)
豊山一城北				2/22(火)

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。

◇はサイン受付時間が17:30~18:30となります。

ニコボックス

田口豊ニコボックス委員長

- ・1月26日は私の、1月30日は妻の誕生日です。 **本多 清治君**
- ・1月23日は妻の誕生日です。 **宇佐美貞夫君**
- ・今月は結婚記念日らしいです。 **宗宮 信賢君**
- ・今月は30回目の結婚記念月です。家族と食事に出かける事を約束させられてしまいました。 **田口 豊君**
- ・今日は小生が卓話の番です。予算がありませんから自分がやります。昼寝しながら聞いて下さい。 **松波 恒彦君**

- ・元会員・飯田堅太郎さんが亡くなりました。訃報を聞き、昨日葬儀に参りました。ご冥福をお祈りします。 **高須 洋志君**
- ・1月18日、第71回自由民主党大会が東京であり、その席上、優秀党員として功労者表彰を受け、午後は日比谷公会堂で交通安全功労者として交通栄誉章、緑十字銀賞を受賞しました。

鈴木 圓三君

- ・寒暖の差が大きくなりました。「かぜ」に気をつけて

小林 幸男君

- ・今日は大寒。さすがに寒いですね。かぜに気をつけましょう。

岩本 成郎君

- ・風邪が治りません!

内田 久利君

- ・今週土曜から次女がオーストラリア・ブリスベンの高校へ1年間交換学生として旅立ちます。娘の無事を願って。

堀 慎治君

- ・明日、1月21日は長女慧美の誕生日です。

長瀬憲八郎君

- ・先回、ロータリーのネームプレートを持ち帰りました。

岩田 吉廣君

- ・91才の母が昨日、八木沢先生にお世話になりました。大変親切にして頂き、母も感謝しておりました。

野崎 洋二君

- ・小原村は雪が降ってます。

細川 達也君

卓話

松波恒彦君

「動物から人間に感染する病気」

今日は動物から感染する病気という事でお話ししたいと思います。獣医師にも色々ありまして、中でも公衆衛生の獣医は人畜共通の伝染病があった時に活躍します。鳥インフルエンザが流行した時には中心的な役割を果たしました。病気の中には人間にしか感染しないもの、犬にしか感染しないものなど色々あります。動物から人間に感染するものは300種類以上あります。一時期騒がれましたエボラ出血熱は、猿から感染する病気です。感染力が強く、感染すればほとんどの場合助かりません。少し前には中国で新型肺炎SARSが発生し、世界中で感染が懸念されました。他にも蚊を媒介とする日本脳炎、ネコからはトキソプラズマなどがあります。以前お話しした事がありますが、狂犬病に感染すると必ず死に至ります。エイズなど死に至ると言われる病気はありますが、潜伏期間があり、すぐには発症しない場合もあります。ですが狂犬病は感染すればすぐに死に至ります。日本では50年ちかく狂犬病は発生しておりません。これは日本で狂犬病の犬が発見され、感染した人がいないというだけであり、数年前には外国で感染して死亡した日本人はいます。狂犬病は犬などにかまれて感染する事が主な原因となります。私はよく外国に行きましたが、未開の地などには多くの犬がうろついています。そういった時、私はむやみに犬には近づきません。狂犬病の予防接種を行っている国は皆無だからです。東南アジアや中国、インドでは多くの人が狂犬病で死んでいます。中国では毎年2万人、インドでは6000~8000人、フィリピンでも5000~6000人近くの方が死亡している大変怖い病気です。世界で狂犬病の予防接種を行っている国はイギリス、日本、オーストラリア、ニュージーランドなどです。お隣の国である韓国、北朝鮮などには狂犬病の犬がたくさんいます。ですから外国に行かれた場合は犬には触らない方がいいでしょう。なぜかと言いますと、狂犬病に発症している犬には人間ならずとも、犬でさえ近づく事はありません。ですが怖いのは潜伏期の犬です。端から見れば普通の状態ですので、可愛いからと近づき、口元をなめられでもすれば感染したと言っても過言ではありません。狂犬病は紀元前2300年以上前からあったと言われており、撲滅する事は不可能とされています。ですから外国に行った場合は犬には近づかない、日本で犬を飼っている方は当病院で狂犬病のワクチンをうって頂きたいと思えます。



先ほど話にありましたが、昨年鳥インフルエンザが猛威をふるいました。鳥インフルエンザの感染源は鴨が一番多いです。鴨はインフルエンザに感染、発症しても死ぬ事はありません。そしてニワトリに感染すると人間の持っているインフルエンザウイルスと結合し、鳥インフルエンザウイルスが新たに出来上がる訳です。中国、東南アジアではニワトリやその他の鳥などと密着した生活を送っています。その中で鳥に密接に関わってくる人々が、鳥インフルエンザに感染することになります。他にも豚などに感染して新たなウイルスが出来る場合もあります。そういう事で病気というものとはどんな形で発症してくるか分かりません。最近いろいろ変わった病気が出てくるのも、人間が未開地にはいり、そこにいる動物の間ではやっていた病気などが人間に感染するからです。今後ますますいろいろな種類の病気が増えてくると思います。

話は変わりまして、狂牛病のお話をしたいと思います。今アメリカで牛肉を輸入するかしないかで騒がれておりますが、狂牛病はどういった病気かという、ウイルスでも細菌でもなく、もっと小さいタンパク質の病原体です。そのタンパク質の毒素が出てくる事によって脳が冒されるという病気、人間にもヤコブ病という似たような病気があります。羊も同じような病気を持っており、何らかの原因で牛にも出てきたという事です。BSEに感染した場合、20~30年経って発症するという事ですから、ロータリー会員のほとんどの方が感染しても何ら問題ないかと思われれます。このBSEが発生し、日本では日夜、私の仲間である獣医師が検査をしています。皆さんが普段消費している牛肉は牛の頭数にして250万頭です。この全てにおいて検査が為されています。ではアメリカにおいてはどうかという物理的に不可能と言えます。頭数にして5,000万頭になるからです。では検査をしない牛肉を輸入してもいいのかと言いますと、現在行われている、牛を食用に加工する方法ですとまず絶対に感染をしない処理の仕方をしております。脊髓を吸い取り、結腸、脳などを使わないという事で、獣医学的な立場から見ても安全であるといえます。ですが農林水産省や、世論の事を考え、牛の全頭検査を行っているのです。そのうちに検査は行われなくなり、アメリカからも牛肉の輸入が再開される事になると思います。狂牛病は最近騒がれる事もなくなり、これからは心配のない病気として認知されていくのではないかと思います。

私もいろいろな所でお話しさせて頂く機会がありますが、皆さんがあまりに病気に関して無頓着な事に懸念を抱かざるを得ません。最近ではペットにチンチラ、プレーリードッグなど、変わった動物を飼われる方が増えております。そういった動物は狂犬病などのウイルスを保菌している場合が多くあります。日本ではおかしな事に、輸入されてくるペットに関しては犬だけしか検疫を受けておりません。変わった種類の動物をペットにしないというのが一番かと思えます。犬や猫を飼っていて口移しで食物を与えるなど、ペットとの接し方を考えて頂きたいと思えます。ネコなども引っかかれるとウイルスが侵入し、腕などが大根のようにぱんぱんに腫れる事があります。最近ではハムスターなどネズミに関する症例も聞かれる事があります。以前にはハムスターにかまれてアナフィラキシーショックで死亡してしまった例もあります。身近にいるペットだからといって安全であるとは言えませんので十分に気をつけて下さい。

お詫びと訂正

第1211回ウィークリー「ゴルフ例会」において「瑞穂R.C.」は「名古屋ゴルフ倶楽部」の誤りでした。お詫びの上訂正申し上げます。

今週卓話

1月27日(木)

第4回クラブフォーラム(中間決算と組織)

次回行事予定

2月3日(木)

卓話講師：2003~2004年度青少年交換帰国学生

堀 由紀恵様 北川 誌野様

テ - マ：「2003~2004年度青少年交換についての体験談」